



福利厚生サービス「レバクリ 職場の健康」、 社外相談窓口サービス「Smart相談室」と業務提携

従業員が心身の不調を気軽に相談できる環境を整備し、早期ケアを支援



レバレッジズ株式会社が運営する福利厚生サービス「レバクリ 職場の健康」(<http://shokuba-kenko.levcli.jp/>)は、2026年10月13日(火)より、株式会社Smart相談室が提供する社外相談窓口サービス(<https://smart-sou.co.jp/counseling>)と業務提携することをお知らせいたします。

本提携により、「レバクリ 職場の健康」を導入する企業の従業員は、心身の不調や仕事・生活上の悩みを感じた際に、「Smart相談室」のカウンセリングを利用できるようになります。

■提携の背景

働く人のメンタルヘルス対策は、企業にとって重要な課題となっています。厚生労働省の調査によると、メンタルヘルス不調により連続1か月以上休業した労働者、または退職した労働者がいた事業所の割合は13.5%となっています*1。また、レバレッジズが正社員として働く方を対象に実施した調査では、メンタル不調を経験したことがある人は57.6%にのびります。一方で、メンタル不調を感じた際に「職場に相談できる環境はない」と回答した人も6割以上となり*2、不調を感じても周囲に相談しづらい実態が明らかになりました。

メンタル不調は、必ずしも医療機関の受診を必要とする状態から始まるとは限りません。日常生活や仕事における悩み、ストレスなどを抱えた段階から、第三者に相談することで自身の状態を整理することも、心身の健康を維持するうえで重要です。

そこで「レバクリ 職場の健康」では、日常的な悩みや心の不調についてカウンセラーに相談できる選択肢を提供することで、従業員が自身の状態に応じて早期にケアを受けられる環境の整備を目指し、「Smart相談室」との業務提携に至りました。

*1 厚生労働省,令和7(2025)年「労働安全衛生調査(実態調査)」の概況

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/r07-46-50_gaikyo.pdf

*2 レバレッジズ株式会社,2026年10月6日「働く人の悩みに関する実態調査」

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000976.000010591.html>

■提携の概要

今回の提携により、「レバクリ 職場の健康」を導入する企業の従業員は、「Smart相談室」のカウンセリングサービスを利用できるようになります。仕事上の悩みや人間関係、ストレス、将来への不安など、医療機関を受診するほどではないものの「誰かに相談したい」という悩みについても、手軽に専門家に相談できる環境を提供します。

「Smart相談室」には、産業カウンセラーや公認心理師、国家資格キャリアコンサルタント、プロコーチなど、200名を超える有資格者・プロフェッショナルが在籍しています。相談者は資格や性別、年代などの条件から自分に合った相談相手を自由に選ぶことが可能です。ご自身の選択が難しい場合も、相談内容に合わせて最適な相談員の紹介を受けられます。

「レバクリ 職場の健康」は「Smart相談室」の連携を通じて、従業員が心身の不調を抱え込まず、必要なタイミングで相談・ケアにつながる環境づくりを支援してまいります。

■法人向け社外相談窓口サービス「Smart相談室」の概要



「Smart相談室」は、誰でも・いつでも・なんでも気軽に相談できる、法人向けの社外相談窓口サービスです。カウンセリングや医師相談に加え、法令対応を実現するストレスチェックやハラ

メント窓口から人材の開発・育成につながるコーチングや個別研修など、幅広い機能を備えています。200名以上の専門家が在籍し、一人ひとりの悩みや課題に丁寧に関わり添います。不調になる前のささいな悩みや不安の芽を、早期に解消へ導くことで、メンタル不調の未然防止を実現し、企業の健康経営と働く人の心の健康に貢献します。

「Smart相談室」サービスサイト: <https://smart-sou.co.jp/counseling>

〈Smart相談室 事業開発 藤本 崇司氏のコメント〉

「このような些細な内容で相談してもよいのだろうか」「社内に知られて評価へ影響しないだろうか」といった懸念や迷いは、相談への一歩を遅らせる大きな要因となります。当社では、相談窓口への心的ハードルを低減し、不調が生じる前に誰もが頼れる「手軽さと安心感」を備えたサービスの構築を推進してまいりました。

この度、レバレッジ様が掲げる「働く人の早期ケアを支援する」という意図に強く共感し、連携に至りました。本業務提携を通して、受診に至る前の「日常的な悩みや疑問」の段階から気兼ねなく専門家へ相談できる環境を構築し、より多くの方々へ提供してまいります。深刻化する前に相談・対処へつながり、誰もが健やかに働き続けられるよう支援に努めてまいります。

◆株式会社Smart相談室 事業開発 藤本崇司様



デジタル専門の広告代理店で、西日本支社立ち上げや東西営業組織のマネジメントを歴任し、スタートアップへ挑戦。Smart相談室のプロダクトに共感し、2024年10月参画。2025年7月より法人向けカウンセリング事業のセールス責任者として、クライアントへの価値提供と仕組みづくりを推進。2026年7月より事業開発部署を新設し、新しい対人支援サービスの創造にむけ、日々奔走している。

〈オンライン診療事業部 部長 中嶋 一揮のコメント〉

ト〉

従業員が心身ともに健康な状態で働き続けるためには、不調が生じた際に適切なケアにつながるだけでなく、日常的な悩みやストレスを気軽に相談できる環境も重要だと考えています。

今回の「Smart相談室」様との連携により、「レバクリ 職場の健康」が提供してきた医療機関への相談・受診だけでなく、カウンセリングという新たな選択肢を提供できるようになりました。従業員の皆さまが、心身の状態に応じて必要なサポートを選択できる環境を整え、企業における健康支援の充実に貢献してまいります。

◆レバレッジ株式会社 オンライン診療事業部 部長 中嶋 一揮



京都大学法学部卒。2019年レバレッジに入社し、IT人材領域のマーケティング・プロダクトマネジメント・新規事業開発に従事。2023年からオンライン診療プラットフォーム

フォーム「レバクリ」を立ち上げ、事業部長として組織統括/事業戦略策定を牽引。

並行して、mederi株式会社のM&Aを主導し、PMI責任者として同社取締役を兼務している。

レバクリ 職場の健康 (<http://shokuba-kenko.levcli.jp/>)

「レバクリ 職場の健康」は、従業員における心身の健康課題の解決を支援する福利厚生サービスです。スマートフォンから手軽に提携医療機関の医師による診療や処方※、カウンセラーへの相談ができる環境を提供します。

これまで多忙や通院負担を理由に不調を我慢していた従業員の「早期相談・早期受診」を促すことで、誰もが安心して長く働ける職場環境づくりと、企業の生産性向上を支援。従業員本人だけでなくその家族も利用でき、安心して長く働ける職場環境づくりに貢献します。

※診察や薬の処方 は提携先医療機関で実施しています。

レバレッジズ株式会社 (<https://leverages.jp/>)

本店所在地：東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア24階 /25階

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業、SaaS事業、M&Aコンサルティング事業 など

「社会課題の解決」を軸に、IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業・SaaS事業、M&Aコンサルティング事業など、国や業界をまたいだ様々な領域で複数のサービスを展開。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2025年度は年商1700億※を突破しました。業界を絞らないポートフォリオ経営と、各分野のスペシャリストが集うインハウスの組織体制で、時代を代表するグローバル企業を目指します。※会計基準変更後

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp